

こうぎん Report

第142期 営業のご報告 ミニディスクロージャー誌
2021年4月1日～2022年3月31日

写真：四万十川（高知県四万十市）

 高知銀行

CONTENTS

ごあいさつ	2
中期経営計画「こうぎん新創造 第Ⅱ期：進化」	3
SDGsへの取り組み	5
働きがいのある職場づくりへの取り組み	10
決算の概要	11
株式の状況	13
ネットワーク	14

PROFILE (2022年3月31日現在)

名称	株式会社 高知銀行 THE BANK OF KOCHI, LTD.	
本店所在地	高知市堺町2番24号	
創立	1930年（昭和5年）1月	
預金等	1兆225億円（譲渡性預金を含む）	
貸出金	7,538億円	
資本金	195億44百万円	
自己資本比率	9.54%（国内基準）	
職員数	755名	
店舗数	本支店	72店舗
	（インターネット専用支店	1店舗）
	（ランチ・イン・ランチ方式 による店舗統合後の営業拠点	64店舗）

<https://www.kochi-bank.co.jp/>
E-mail: kouhou@kochi-bank.co.jp



皆さまには、日頃より私ども高知銀行への温かいご支援、お引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けられた皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

このたび、当行に対するご理解をより一層深めていただきたく、2022年3月期のミニディスクロージャー誌「第142期 営業のご報告」を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

地域経済は、生産年齢人口の減少や少子高齢化の進展などを背景とした経済規模の縮小等の課題を内包するなか、新型コロナウイルス感染症の流行が長期化しており、回復に向けた懸命の努力を通じて人々の価値観や社会活動は変容、刷新されてきております。

当行は、これらの経営環境に適應して、地域経済の回復をサポートするとともに、それを永続的なものとするために経営基盤をより強固なものとしていく必要があると認識しております。

こうした考えのもと、目指す姿として「地域の価値向上に貢献する金融インフラ」を掲げた中期経営計画「こうぎん新創造 第Ⅱ期：進化」の実現に向けて、役職員が一丸となって取り組んでおります。

さらに、SDGsの達成に向けた様々な活動を通じて共通価値を育み、地域の皆さまを起点とした協働により、地域社会や地域経済の持続的な発展に貢献してまいりたいと考えております。

今後とも変わらぬご愛顧とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



2022年6月
取締役頭取

海治勝彦

経営理念

熱意

高知銀行は、限らない熱意をもって、地域の発展と暮らしの向上に貢献します。

調和

高知銀行は、調和のとれた経営をもって、お客さまの信頼に応えます。

誠実

高知銀行は、創意と誠実をもって、お客さまに奉仕します。

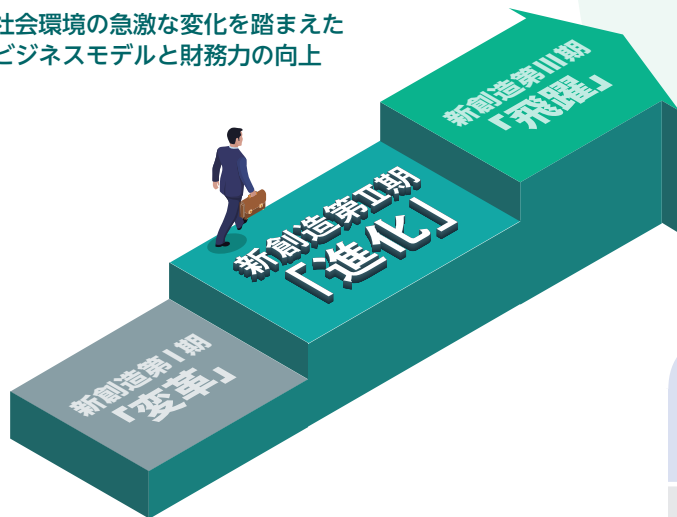


中期経営計画「こうぎん新創造 第Ⅱ期：進化」

2021-2023年度

中期経営計画「進化」

社会環境の急激な変化を踏まえた
ビジネスモデルと財務力の向上

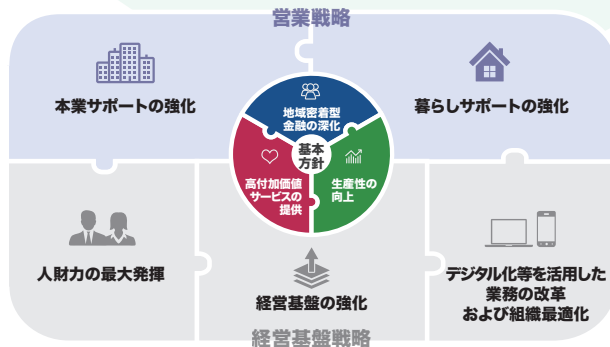


目指す姿

地域の価値向上に貢献する金融インフラ

- 地域密着型金融を深化させ、付加価値の高い金融サービスを提供することで、お客さまの価値向上をサポートする。
- 地域全体の価値向上を提案し、その活動を支援する金融インフラとなる。

3つの基本方針と5つの基本戦略



中期経営計画の目標と実績 (単体ベース)	2022/3期		2023/3期	2024/3期
	計画	実績	計画	計画
コア業務純益 (*1)	2,137百万円	2,908百万円	2,390百万円	2,664百万円
業務粗利益経費率 (*2)	71.04%	67.40%	70.78%	70.02%
当期純利益	10億円	15億円	12億円	13億円
自己資本比率	8.9%程度	9.54%	8.9%程度	8.7%程度
中小規模事業者等向け貸出残高	4,570億円	4,614億円	4,575億円	4,580億円
経営改善支援等の取組比率	5.99%	7.95%	6.14%	6.40%

(注) (*1) コア業務純益 (業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券関係損益)

(*2) 業務粗利益経費率 ((経費-機械化関連費用) ÷ 業務粗利益)

「営業戦略」と「経営基盤戦略」のイメージ

目指す姿「地域の価値向上に貢献する金融インフラ」の実現に向け、基本方針に基づく従来からの施策を「進化」させ、新たに策定した「営業戦略」と、その効果を最大限に引き出していくための「経営基盤戦略」に取り組んでまいります。



こうぎんSDGs宣言

株式会社高知銀行《こうぎん》は、SDGsの達成に貢献するため、以下の活動を通じて共通価値を育み、地域の持続可能性を高めていくことを宣言いたします。



こうぎんSDGs宣言に係る取り組みの状況

(2022年5月現在)



地域が享受する自然の恵みを守るとともに、農林水産業をはじめとするさまざまな産業の活性化に努めます。



土佐町とのSDGs推進に関する包括連携協定締結、合同勉強会開催
農林水産支援室や経営アドバイザーによる支援活動
ビジネスアドバイザーによる創業や事業承継、本業サポートの強化
「こうぎんSDGs経営支援サービス」による、お取引先のSDGs貢献支援
地域のプランディング活動支援



コンサルティング機能を強化し、豊かな暮らしの持続やさらなる発展に向け汗を流します。



パーソナルアドバイザーによる暮らしサポートの強化
学生への金融経済セミナー等、金融リテラシーの向上に資する対話の促進
地域交流活性化イベントの実施（南支店、こどもサッカー教室、こども金融科学教室など）
高知県と地域見守り活動に関する協定を締結
非常用食料の寄贈などフードドライブ活動を支援
移動金融車を活用した金融サービス網の維持
自治体新電力、環境関連事業、防災関連事業への融資
「こうぎんSDGs応援私募債」の引受および発行に伴う寄付・寄贈
福祉活動・公益事業等支援につながる商品導入（「こうぎんSDGs応援私募債」「SDGs応援定期」）



環境に配慮した活動を推進するとともに、環境保全につながる皆さまの取り組みをサポートします。



EV・ハイブリッド車やWeb会議システムの活用による脱炭素化
生態系保全等、環境配慮型事業の促進に向けたビジネスマッチング
RPAを活用した省エネ化
モバイルPCを活用したペーパーレス口座開設サービスの開始
環境配慮型商品・サービスの拡充
地域清掃活動（お遍路ウォーキング、はりまや橋周辺の清掃等）
環境再生に向けた四万十川流域の科学的調査に協力



多種多様なステークホルダーと協働することによって、健全な経営を実現します。



女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を実践（えるばし認定等）
働きがいのある職場づくり（健康経営優良法人・健康経営宣言・プラチナくるみん等）
多様な見識を持つ社外役員の登用および独立性の確保
取締役会の諮問機関として指名報酬委員会を設置
グループガバナンスの強化（事業開発委員会の設置等）
DX戦略の推進に向けたデジタル営業部の新設
一般財団法人高銀地域経済振興財団による学術研究等への助成金贈呈
大学発ベンチャー企業を応援する「高知県発ベンチャー投資事業有限責任組合」へ出資

土佐町とSDGs推進に関する協定を締結

当行は、土佐町と「SDGs推進に関する包括連携協定」を2021年8月16日に締結いたしました。

土佐町は、「SDGsと住民幸福度に基づく“誰ひとり取り残されない”持続可能なまちづくり」の実現を目指して取り組まれておりますが、当行の「こうぎんSDGs宣言」に掲げた取り組みと共通する部分もあり、相互に連携していくことで、地域の持続可能性を高めていく取り組みをさらに強化してまいります。



SDGs 合同勉強会を開催

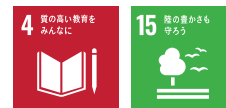


当行は、SDGsの考え方を地域の活性化に活かし、地方創生を実現する方法について参加者全員で対話し、考えることを目的とした《カードゲーム「SDGs de 地方創生」》を、2021年12月18日に土佐町役場で開催いたしました。

地域の事業者や土佐町役場の職員にもご参加いただき、少子高齢化が進む地方で「20年後も豊かに過ごせるまちとなるのか」をテーマにお互いの目線から考察していただきました。



高校生による交流研修を開催



当行は、高知県中山間地域の課題を農林業の視点から考え、課題や魅力を共有するとともに、新たなアイデアや気づきを得ることを目的とした高知県内外の高校生による交流研修を、2021年10月30日から31日の2日間にわたり土佐町において開催いたしました。

この研修では、高知県立嶺北高等学校および京都府立北桑田高等学校の生徒数名と、土佐町や地域おこし協力隊等にご参加いただき、山林の現地視察等も交えながら高校生の目線から考察していただきました。



こうぎんSDGs応援定期「未来」



当行は、地域のSDGsに貢献するための新商品「こうぎんSDGs応援定期『未来』」を2021年10月1日から発売しております。

本商品は、毎年3月末時点の同定期預金の残高に対して0.01%相当額(最大100万円)を、高知県等が取り組みしているSDGsの活動に当行が寄付いたします。なお、お客さまのご負担はありません。



2022年4月28日には、地域の福祉活動に役立てていただくため、社会福祉法人高知市社会福祉協議会に寄付金約39万円を贈呈いたしました。



こうぎんSDGs応援私募債



当行は、SDGsの達成に向けた社会貢献活動の一環として「こうぎんSDGs応援私募債」を2021年7月30日から取り扱っております。

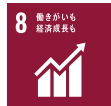
この私募債は、当行が、私募債を発行されるお客さまから受け取る手数料の一部を拠出して、地方公共団体、医療機関、介護・福祉施設や地域の学校等に寄附、または物品の寄贈を行うことが特徴で、その対象先は発行企業さまが選択することも可能です。



発行企業：株式会社ママイ様
愛媛県立新居浜特別支援学校にミシンを贈呈



発行企業：ミタニ建設工業株式会社様
宗教法人朝倉神社に寄付金を贈呈



中小企業をサポート

当行は、お取引先企業の様々なニーズにお応えしていくため、外部機関との連携による各種セミナーや相談会を開催しております。



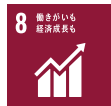
雇用・労働分野関係助成セミナー
高知労働局と共催 (2021年7月27日)



会社の「バトンタッチ」の進め方セミナー
一般社団法人ビジネスサポートこうち(B S K)と共催 (2021年7月21日)



コロナ時代を生き抜くインボイス対策セミナー
B S Kと共催 (2021年11月17日、2022年3月16日)



「高知の魅力発信プロジェクト」を主催

当行は、地域事業者の皆さまを対象とした「高知の魅力発信プロジェクト」事業を企画して、販路開拓支援を行っております。

同プロジェクトは、販路開拓の専門家によるマーケティングセミナーの開催や個別商品のブラッシュアップをサポートするとともに、商談会や首都圏でのテスト販売会などを通して市場のニーズをつかみ、販路開拓につなげていくことを目的としており、2021年4月から約半年間にわたって実施いたしました。

参加事業者さまの強みを活かした商品開発やパッケージデザイン、提案資料の作成、営業力の向上支援等に関するサポートを通じて、企業価値の向上につながる本業支援に取り組んでおります。



高知県との地域見守り活動

当行は、高知県および高知県民生委員児童委員協議会連合会と「高知県における地域の見守り活動に関する協定」を、2021年11月30日に締結いたしました。この協定は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるために、支援が必要と思われる世帯や子どもの安全・安心のための見守り活動の推進を目指しております。

当行はこれからも、日常の営業活動において、高齢者や子どもたち等の支援が必要と思われる方の見守り活動に取り組んでまいります。



学生のための金融経済セミナーを開催

当行は、高校生や大学生を対象とした「学生のための金融経済セミナー」を、2021年8月3日と2022年3月29日に開催いたしました。「成年年齢引き下げで今知っておいてほしいこと」をテーマに外部講師を招き、「契約」の仕組みや留意点、金融トラブルの対応策等について解説いたしました。



非常用食料を寄贈

当行は、災害対策用備蓄品の更新にあたり、備蓄していた非常用食料を、社会貢献活動の一環として、社会福祉法人高知県社会福祉協議会に寄贈いたしました。

同協議会は、支援を必要としている個人や施設、団体等に無償で食品を提供する「フードドライブ」の活動を実施されております。



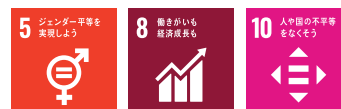
レトルトパウチ食品2種類、合計2,156食
(2021年9月28日)



サバイバルパン3種類、3,080箱 ミレービスケット3,381缶 (2022年2月3日)

働きがいのある職場づくりへの取り組み

高知県内企業で初めて「プラチナくるみん」の認定を取得



当行は、2007年に、高知労働局より「次世代育成支援対策推進法に基づく基準適合一般事業主」の認定を受け、高知県内企業として初の「くるみん認定」を受けて以来4期連続して同認定を受け、2017年にはより高い水準の取り組みを行った企業として「プラチナくるみん」の認定を受けております。



	これまでの取り組み	認定時期
第1期目	育児関連の充実や有給休暇の取得促進	平成19年8月 (高知県第1号認定)
第2期目	ワークライフバランスへの取り組み	平成22年11月
第3期目	「こども金融・科学教室」や「こどもサッカー教室」[インターンシップ]の開催等、地域貢献活動への取り組み	平成24年10月 (3期連続認定は四国初)
第4期目	育児関連制度の充実や育児休業等取得に向けた取り組み	平成27年3月 (4期連続認定は中四国初)
第5期目	「キャリアリターン制度」の導入や「e-ラーニングシステム」による職場を離れた育児休業者に対して円滑な職場復帰を支援する取り組み	平成29年6月 (「プラチナくるみん」認定は高知県初)

高知県内企業で初めて「えるぼし」の認定を取得

当行は、2017年に、高知労働局より「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく認定を受け、認定マーク「えるぼし」を取得いたしました。なお、同認定5項目のすべてを満たしていたことから、「えるぼし」の最高位での認定となっております。

また、女性活躍推進に優れた企業として、2021年に3期連続して「なでしこ銘柄」に選定されました。



健康経営を推進

当行は、職員およびその家族の健康が、地域社会の発展と当行の成長に欠かせないことから「健康経営宣言」を制定し、持続的な成長の実現と良質な金融サービスの提供を通じて、健康で活気に溢れた地域づくりに貢献してまいります。

健康経営優良法人2022

当行は、経済産業省および日本健康会議が実施する「健康経営優良法人認定制度」において、2022年3月9日に「健康経営優良法人2022(大規模法人部門)」に認定されました。同認定は4期連続となります。



スポーツエールカンパニー

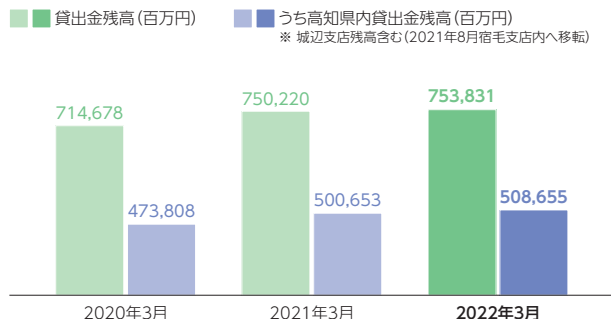
当行は、スポーツ庁が実施する従業員の健康増進のためにスポーツの実施や健康管理に向け積極的な取り組みを行っている企業の認定制度である「スポーツエールカンパニー2022」の認定を2022年1月26日に受けました。同認定は3期連続となります。



決算の概要

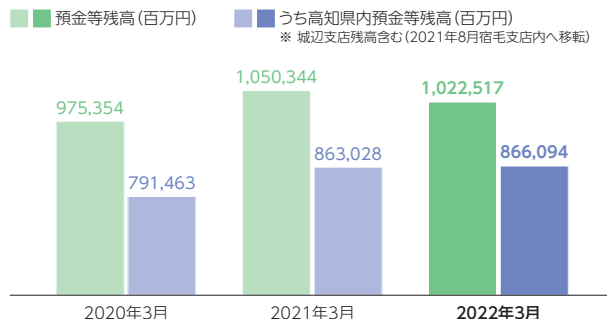
貸出金 (単体)

長期化するコロナ禍において、金融仲介機能を発揮して地域中小企業の資金繰り支援に真摯に取り組んでまいりました結果、貸出金残高は前期末比36億円増加して7,538億円となりました。



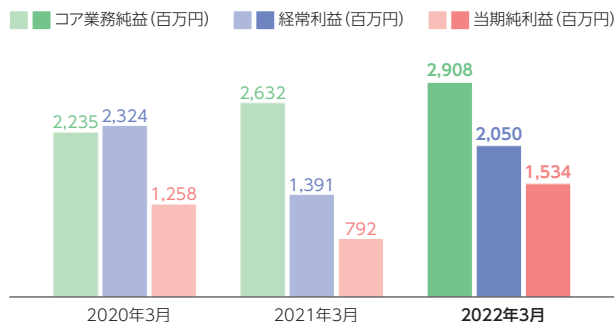
預金等 (譲渡性預金含む) (単体)

長らくコロナ禍においても、地域経済の活性化をサポートする活動を展開しております。こうした中、新しい様式の社会において、経済活動が戻りつつあることから、預金残高は前期末比278億円減少して1兆225億円となりました。



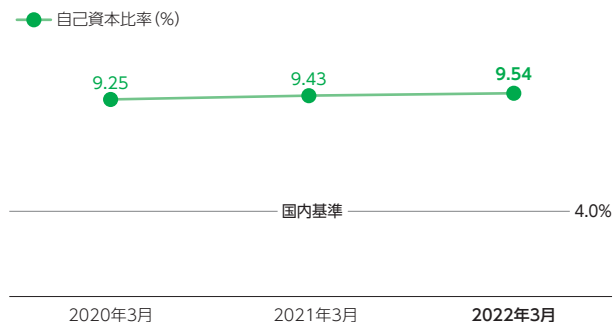
コア業務純益・経常利益・当期純利益 (単体)

地域に密着した営業活動を展開し、業績の向上と経営体質改善強化に努めた結果、コア業務純益は29億8百万円、経常利益は20億50百万円、当期純利益は15億34百万円となりました。



自己資本比率 (単体)

経営の健全性の重要な指標とされる自己資本比率は、前期末比0.11ポイント上昇して9.54%となりました。

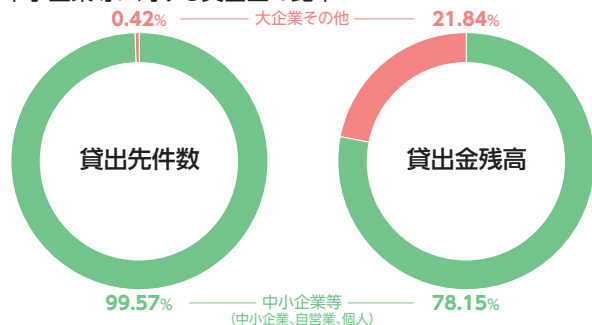


金融再生法開示債権の状況

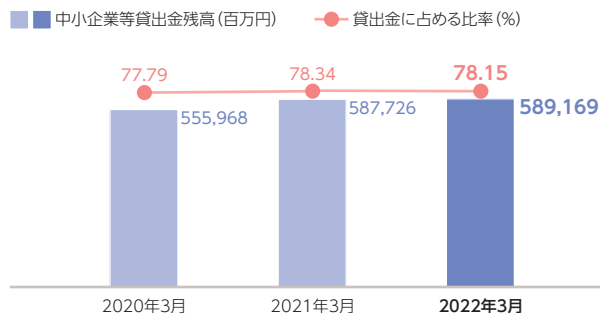
金融再生法開示基準に基づく債権の合計は、前期末比21億55百万円増加して319億21百万円となり、開示債権比率は前期末比0.27ポイント上昇して4.13%となりました。

Ⅰ 中小企業等に対する貸出金 (単体)

中小企業等に対する貸出金の比率 (2022年3月末)

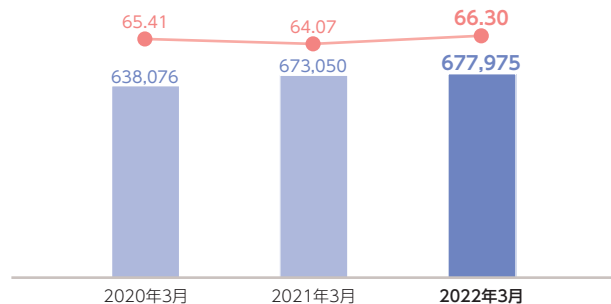


中小企業等に対する貸出金残高の推移



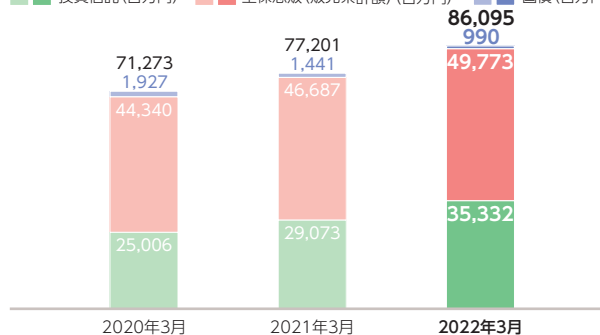
Ⅰ 個人預金の推移 (単体)

個人預金残高 (百万円) 個人預金比率 (%)



Ⅰ 預り資産の推移 (単体)

投資信託 (百万円) 生保窓販 (販売累計額) (百万円) 国債 (百万円)



株式のご案内

1 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

2 配当金受領株主確定日

3月31日および中間配当を行うときは9月30日といたします。

3 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

4 基準日

毎年3月31日の株主名簿に記載または記録された議決権を有する株主をもって、定時株主総会において権利を行使することができる株主といたします。

その他必要があるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。

5 単元株式数

単元株式数は100株であります。

6 株主名簿管理人等

- (1) 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- (2) 株主名簿管理人事務取扱場所
大阪府中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

電話照会先

☎ 0120-782-031

受付時間9:00～17:00(土日休日を除く)

7 公告方法

公告方法は、電子公告といたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞および高知市において発行する高知新聞に掲載いたします。

なお、当行ホームページアドレスは<https://www.kochi-bank.co.jp/>です。

8 単元未満株式の買取・買増請求制度について

当行では、「買取請求制度」「買増請求制度」のご利用が可能となっております。

証券会社をご利用の株主さまは、お取引の証券会社へお申し出ください。

証券会社をご利用でない株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行へお申し出ください。



株式の状況 (2022年3月31日現在)

普通株式

発行可能株式総数	40,900,000株
発行済株式の総数	10,244,800株
株主数	5,672名
上場証券取引所	※東京証券取引所市場第一部
証券コード	8416

第1種優先株式

発行可能株式総数	40,900,000株
発行済株式の総数	7,500,000株
株主数	1名

※2022年4月4日に東京証券取引所スタンダード市場へ移行

大株主の状況 (普通株式)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	815	8.01
高知銀行持株会	479	4.72
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	446	4.39
技研ホールディングス株式会社	415	4.08
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	371	3.65
四国総合信用株式会社	206	2.02
S M B C 日興証券株式会社	170	1.67
株式会社技研製作所	169	1.66
株式会社ヨンキュウ	167	1.64
株式会社日本カストディ銀行(証券投資信託口)	142	1.40

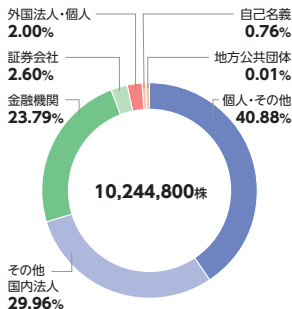
(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

2. 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式(78,644株)を控除のうえ算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

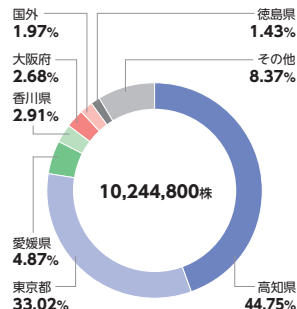
大株主の状況 (第1種優先株式)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社整理回収機構	7,500	100.00

株式所有者別分布 (普通株式)

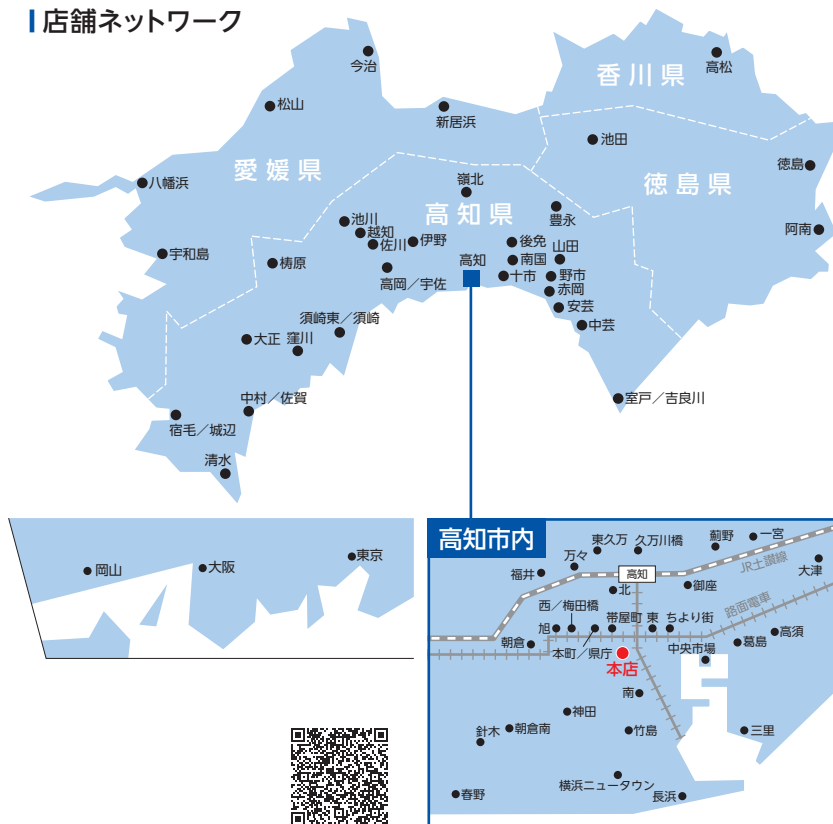


株式地域別分布 (普通株式)



ネットワーク

店舗ネットワーク



ご相談窓口

住宅ローンなど各種ローンのご相談・お申込み

お問い合わせ ☎ 0120-712-362

■ こうぎんローンセンター

高知市堺町5-15 (高知銀行本店南側)

営業日・営業時間

平日 午前10:00~午後 7:00

日曜日 午前10:00~午後 5:00

※日曜日が祝日の場合も営業いたします。

※休業日: 土曜日、日曜日以外の祝日、年末年始、5月の連休

各種ローンや資産運用等に関するご相談・お申込み

お問い合わせ ☎ 0120-077-085

■ こうぎん相続&暮らしのサポートプラザ

高知市帯屋町二丁目2-14 OKAMURA帯屋町ビル3階

営業日・営業時間

平日 午前10:30~午後 7:00

※休業日: 土日祝日、年末年始、5月の連休

お問い合わせ ☎ 0120-501-235

■ こうぎん久万川橋プラザ

高知市塩田町12-3 (高知銀行久万川橋支店北隣)

営業日・営業時間

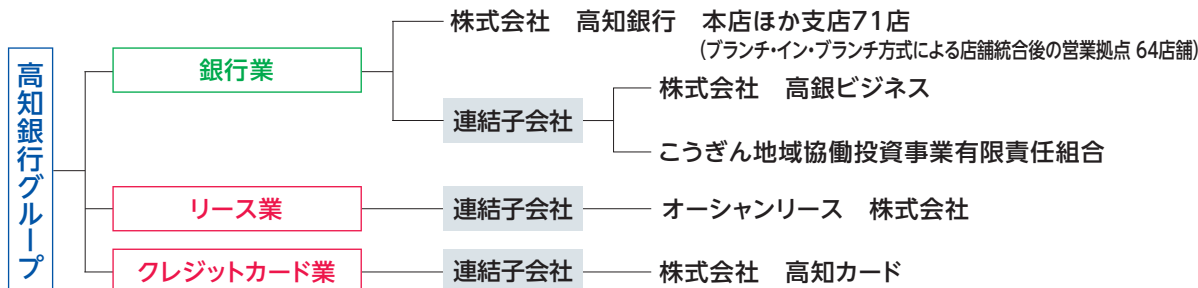
平日 午前 9:00~午後 5:00

土日祝日 午前10:00~午後 5:00

※休業日: 年末年始、5月の連休

高知銀行グループ

高知銀行グループは、当行および連結子会社4社で構成され、銀行業務のほか、リース業務、クレジットカード業務などの金融サービスに係る事業を行っております。





THE BANK OF KOCHI, LTD.

〒780-0834 高知市堺町2番24号

TEL.088-822-9311 (代表)

<https://www.kochi-bank.co.jp/>

